

しゃくなげ祭

10月21日(土)平成29年度しゃくなげ祭が行われました。学校名が変更になり、また南校舎が完成して、初めてのしゃくなげ祭でした。今年は「輝く未来へ飛び立とう!」というテーマで、ステージ発表や展示発表、理療公開などを行いました。

小学部は普段の授業の様子から体育でできるようになった平均台を渡ることやマット運動、9月の宿泊学習で体験したぶどう狩りやバター作りについての発表、国語で学習した「未来がよりよくあるために」の意見文の発表がありました。また最後には小学部全員で「一人の手」を歌いました。



中学部は、2つのグループに分かれ、総合的な学習の時間にハーブについて調べたことや実際にハーブを使った調理や入浴剤を制作した学習についての発表と、修学旅行の思い出の映像とともに、旅行で体験したアロマミストを会場みなさんにも体験してもらったり、音感についての発表で「感覚ミュージアム」の中で気に入った創作楽器を再現しその音を聞いてもらったりしました。

高等部普通科は、総合的な学習の時間で調べたことを発表しました。展示スペースでの発表では福島の美味しいものを探そうという

ことで、円盤餃子を作ったことやその作り方を発表し、あわせて「餃子をつくろう」の歌などを披露しました。ステージ発表では、日本の伝統音楽として、箏について調べたことを発表し演奏を披露しました。また、アメリカと日本の文化の違いを調べて、高校生活の様子の違いなどを発表し感想を英語でスピーチしました。



また理療科は、新校舎の治療室において恒例の無料マッサージを行いました。25

名の方が来てくれました。



閉会式では高等部普通科によるよさこい踊りで盛り上がり、今年のテーマソング「365日の紙飛行機」を音楽同好会の演奏に合わせて全校児童生徒で合唱しました。

一人ひとりが主役として一生懸命頑張り、それぞれの思い出に残る1日となりました。